

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童ルームスマイル		
○保護者評価実施期間	6年12月1日 ~ 6年12月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	6年12月1日 ~ 6年12月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 3人	(回答者数)	3人
○事業者向け自己評価表作成日	7年2月18日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達の特性に合わせて、個別療育をしている。	アセスメントを通して一人一人の特性理解から始めていきながら、療育内容を話し合っている	アセスメントの回数を増やしたり、一人一人に合った教材を増やしていく。
2	遊戯室、園庭が事業所内にあり、公園、神社も近隣にある為、遊びを通して体を動かす事を学ぶことが出来る。	スケジュールに組み込んでいきながら、意識的に体を動かす療育を組み込んでいる。	運動療育の内容をもっと話し合う時間をつくる。
3	少人数である為、ほぼ1対1で支援をすることが出来る。	児童発達の場合は、身辺自立も主な支援になるので、一人一人丁寧に自立を考えながら支援しています。	プロンプトや声掛けなど、外すタイミングを職員間で統一するように話し合いを重ねていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の幼稚園や保育園との交流がない。	交流をどのような形でするのがいいにか、イメージが持てていない。	近隣の幼稚園に話を聞きに行き、具体的にどのような交流が出来るのか、話し合いをする機会を持ちたいと思う。
2	人数が少ない為、集団療育にはならない。	多機能型の為、人数がこれ以上は増やすことが難しい。	集団療育が必要な児童は、CoCoに移動するなど、方法を考えていきたいと思います。
3			